

テープワークによるトラブルとその対策

テープワークにより起きる皮膚トラブルを一般的に皮膚かぶれ（医学的には接触性皮膚炎）と言ひ、原因は機械的の刺激（物理的な刺激）、化学物質による刺激、アレルゲンによる刺激の3つに大別されます。中でも機械的の刺激によるトラブルが最も多いと考えられ、いずれもテープの選択や使用方法に關係するものばかりです。したがって、正しい使用方法を守ればテープワークにおける皮膚トラブルを軽減することができます。



テープワークで最も多い皮膚トラブル 機械的の刺激（物理的な刺激）による原因

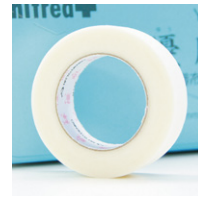
- ・粘着力の高いテープを使用している。
- ・使用しているテープが蒸れ易い。
- ・スキンケアの不足。
- ・皮膚を引っ張り過ぎて貼付している。
- ・貼っている間の動きで皮膚に緊張がかかる。
- ・勢い良く剥がしている。
- ・テープを真上に持ち上げて剥がしている。
- ・皮膚が機械的の刺激に弱い。

※接触性皮膚炎については、別紙「まつげエクステに纏わる目の病氣-接触性皮膚炎-」を参照ください。

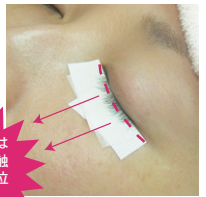
適切なテープを選ぶ



◆医療用極低刺激性テープ スキナゲート



◆優肌絆 不織布



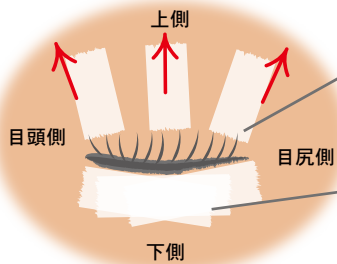
テープは眼球が触れない位置に！

◆貼り付け例

柔らかく粘着力の弱い清潔な医療用テープを使用します。

※保管時は、高温、多湿、直射日光及び水濡れを避けた冷暗所で保管してください。

テープの貼り方



まぶたを持ち上げる場合：

まぶたにテープを貼り、毛穴がある程度見えるようやさしく引っ張ります。

注意！ 引っ張り過ぎると皮膚が引きつり、粘膜も露出してしまいます。

下まつげを固定する場合：

目の際に近づけ過ぎない位置で、テープを引っ張らないよう静かに貼り付けます。

その後、上からやさしく押さえて密着させます。

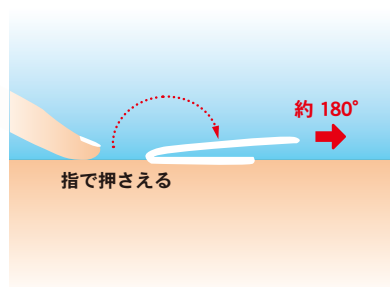
貼り付ける時の注意点

- ・粘着製品により皮膚のトラブルを起こしやすい顧客には、施術前に医師にご相談ください。
- ・一般的にまつげエクステに使用するテープは未滅菌で抗菌効果もありません。皮膚に傷や異常がある場合は貼らないでください。
- ・皮膚に水分や油分が付着しているとテープが粘着しにくくなります。
- ・施術上必要な場合以外は皮膚やテープを引っ張らずに貼り、上からやさしく押さえて密着させてください。

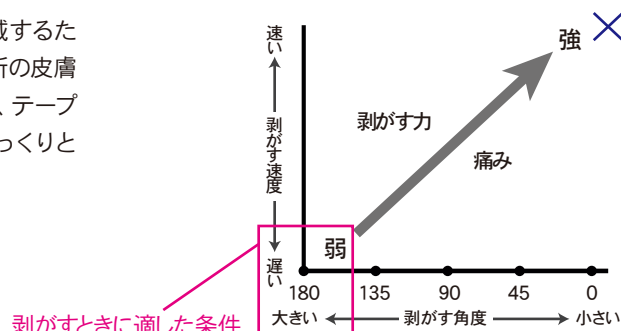
貼り付け中の注意

- ・汗をかいたり、貼り直したりすることで皮膚が蒸れた場合は、粘着力が低下し、剥がれやすくなります。
- ・皮膚をテープで引っ張り過ぎると、発赤などの皮膚トラブルの原因になることがあります。
- ・過度な負担や動作などにより剥がれることがあります。
- ・皮膚の状態やテープによっては、強く粘着して剥がれにくくなったり、剥離後の皮膚に粘着剤が残ることがあります。
- ・濡れたり、汚れたりした場合は、新しいテープに替えてください。
- ・長時間皮膚が蒸れた状態になると皮膚トラブルの原因となります。
- ・テープの使用により、発赤、発疹、かゆみなどの症状が出た場合は使用を中断し、医師の診察を受けてください。

テープの剥がし方



皮膚への負担を軽減するため、引っ張られる箇所の皮膚を指で押さえながら、テープを折り返すようにゆっくりと剥がします。



剥がすときに トラブルになる行為

- ・皮膚を押さえないで速く剥がす
- ・皮膚が持ち上がる
- ・剥がす力が強い
- ・剥がす角度が小さい